

## 市政総合アンケートの実施について

市民参加（市政，まちづくり活動への参加）について，市民の実感を把握するため，本市が毎年実施している「市政総合アンケート」を利用し，アンケート調査を実施する。なお，「市民参加」というテーマではこれまで，平成11年度，平成22年度の2回，実施している。

### 【調査概要】

- 1.調査テーマ 「市民参加（市政，まちづくり活動への参加）について」
- 2.調査対象 市民（民間の調査会社に登録するインターネットモニター）約1,000人
- 3.調査方法 パソコン，スマートフォン等での回答
- 4.今後のスケジュール

R1.9月～11月	設問について，フォーラムで審議 学識者に意見聴取，関係部署と内容を調整
R1.12月～R2.1月	業者による調査実施，結果報告書の作成
R2.2月	結果公表

### 【今回の設問設定について】

- (1) 前回のアンケートの設問は市民の「市政への参加」に関するものが多かったが，この間「まちづくり活動の支援」について様々な施策を実施していることから，その状況も含め，両方の取組について市民の意識を聴けるよう項目を設定した（「市政参加：問1～6」「まちづくり活動：問7～11」「共通：問12～14」）。
- (2) 市民が市政に参加するために京都市が取り組むべきことは何かということについて，回答項目を細かく設定した（問6）。
- (3) まちづくり活動をしている方が普段どのような場所で活動し，どういった支援を必要としているのかという点を把握できるような設問を設定し（問7，8，9），各設問の回答項目に現在利用できる施設や制度を数多く記載した。
- (4) 「対話の推進」に関する設問を設けた（問13）。

令和元年度 第2回市政総合アンケート

「市民参加（市政、まちづくり活動への参加）について」

京都市では、市民の皆さんと共に市政、まちづくりを推進していくために、「市政参加」の推進の取組と「まちづくり活動」の支援の取組を行っています。

このアンケートでは、皆さんのそれぞれの取組への参加について伺いし、改定を予定している「京都市市民参加推進計画」の基礎資料として活用させていただきます。何卒ご協力をお願いします。

「市政参加」とは、市民の皆さんが市政運営について行政に意見を伝えたり、行政職員と一緒に市政やまちづくりについて考えたり話し合ったりする取組をいいます。

「まちづくり活動」とは、市民の皆さんが、まちや地域社会のために個人や団体で自主的に行う様々な活動をいいます。

「市政参加」の取組について

問1 京都市では、市民の皆さんの意見や想いを市政に反映していくため、次のような「市政参加」の制度を用意しています。この中であなたが参加されたことがあるか、またご存知かについて、取組ごとに当てはまるものを1つずつお選びください。

	参加したことがある	が知っている 参加したことはない	知らない
1 市が実施する各種のアンケート調査・・・			
※このアンケートを除きます。			
2 市長への手紙・・・・・・・・・・・・・・・・			
3 提案，アイデア，名称・愛称等の募集・・・			
4 パブリック・コメント*1・・・・・・・・			
5 モニター制度*2・・・・・・・・			
6 審議会等*3の公募委員への応募・・・・			
7 審議会等の傍聴・・・・・・・・			
8 ワークショップ*4形式の意見交換会・・・			

- \* 1 パブリック・コメント…広く市民に対して、市が検討している政策案に対する意見を事前に受け付ける機会を確保し、意見と意見への返答や対応を公開し、必要なときには案の修正をする制度
- \* 2 モニター制度…消費生活モニターや上下水道モニターなど、モニターとなった人からレポートを提出いただいたり、議論していただいたりし、改善に結び付けていく制度
- \* 3 審議会等…政策の形成や評価のため、専門家、関係者、市民等が市からの諮問事項について審議する機関（例：京都市基本計画審議会）
- \* 4 ワークショップ…経験，立場，年齢の異なる人々が参加し，特定のテーマや課題について，知識を共有した











- 1 活動に役立つ情報の提供を推進する
- 2 組織運営に関する相談事業を推進する
- 3 人的な補助（アドバイザー，コーディネーター派遣等）の取組を推進する。
- 4 活動の拠点となる場所を増やす
- 5 活動への理解や参加を促すための広報を推進する
- 6 活動に必要な財政上の支援を推進する
- 7 活動を支える人材の育成を推進する
- 8 「行政」（職員）と「まちづくり活動」主体（個人・団体）との連携・協働を推進する
- 9 「まちづくり活動」主体（個人・団体）同士の連携・協働・交流等の支援を推進する
- 10 その他（ ）

問 12 京都市では，市政参加やまちづくり活動の情報を色々な媒体で発信しています。あなたがこれまで，市政参加やまちづくり活動などの市政情報をどこで得たり，見聞きしたりしましたか。得た媒体，見聞きすることが多い媒体を次の中から3つまでをお選びください。

- 1 市民しんぶん
- 2 京都市ホームページ（「京都市情報館」）
- 3 京都市の市政参加とまちづくりポータルサイト（「みんなでつくる京都」）
- 4 その他の京都市の各所管課等が発信する公式SNS，ポータルサイト等
- 5 市広報板
- 6 区役所等の窓口，公共施設の配架チラシ等
- 7 市バス・地下鉄のポスター等の掲示物
- 8 ラジオ・テレビでの市広報番組
- 9 自治会・町内会の会合やニュース（回覧板含む）
- 10 新聞
- 11 ラジオ・テレビ（市広報番組以外）
- 12 インターネット（京都市以外のホームページ，SNSなど）
- 13 知り合いからの口コミ情報，SNS
- 14 その他（ ）

問 13 京都市では，市職員と市民，市民と市民が，市政やまちの課題について直接対話する取組の推進を進めています。また，「“みんなごと”のまちづくり」事業等を通じて，協働のまちづくりを支援する取組を進めています。これらの取組について，今後京都市が進めるべきであると思う取組について，次の中からあてはまるものを全てお選びください。

- 1 行政と市民の対話の場をさらに増やす取組
- 2 市民同士の対話の場をさらに増やす取組
- 3 対話の場に関する情報の発信, P R
- 4 対話できる市職員の育成
- 5 まちづくり活動に関する情報の発信, P R
- 6 まちづくりに興味がある市民の交流の場を増やす取組
- 7 市職員がまちづくりの現場に積極的に参加する取組
- 8 推進しなくてよい
- 9 わからない

自由意見

問 14 「市政への参加」や「まちづくり活動」について、ご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問 15 最後にあなた自身のことについてお尋ねします。次の（ア）～（エ）の各項目について、それぞれいずれか 1つをお選びください。

（ア）性 別 1 男 2 女 3 ( )

（イ）年 齢 1 18～29 歳 2 30 歳代 3 40 歳代 4 50 歳代 5 60 歳代 6 70 歳以上

（ウ）居住地 1 北 区 2 上京区 3 左京区 4 中京区 5 東山区 6 山科区  
7 下京区 8 南 区 9 右京区 10 西京区 11 伏見区

（エ）職 業 1 自営業・自由業 2 会社員・公務員など給与所得者  
3 主婦・主夫 4 学生  
5 無職 6 その他